

幼児教育のための施策

# 「みんなで花を咲かせましょ。」 「芸術士」の提案

## EN 団体概要

設立：2015年、理念：美術でつなぐ

ミッション：美術でつながり、集い、語らい、切磋琢磨し、人を育て、自らも成長する

活動内容：①DHARMA沼津をはじめとした展示やイベント。

②アートを通して子供たちの創造性を育む取り組み。

所在地：沼津市市場町12-24

ホームページアドレス：<https://www.facebook.com/Numazu.EN>

連絡先など：hoop310@gmail.com

## 始めに。そして動機

ENは既に「みんなで花を咲かせましょ」を基に、市内の幼稚園関係者（園児も含む）とアートを媒体に具体的接点を構築し信頼関係を得ている。そしてさらにアートの可能性を思考するとき、現在、香川県で実践されている「芸術士」を参考に、近い将来、沼津市内の幼稚園・保育所でも派遣・展開できるような下地を作ってゆくことを目的としている。

## 実施概要

- ENに対して、沼津市私立幼稚園協会の主催する「おやこんぼフェスタ」において、オリジナル企画のワークショップ開催の打診があり  
深海魚をテーマにした親子参加型のワークショップを開催する
- アーケード名店街「だいこくや」店内にENが作製した巨大な桜の木に、ENから依頼した市内私立幼稚園の園児たちが思い思いに  
メッセージや花を描く
- 近年、幼児教育現場で注目されている「芸術士」をENと市内の幼稚園関係者とワークショップや議論を重ねて具現化していく

# ワークショップ内容・スケジュール・準備

## 「おやこんぼフェスタ」

開催日時：6月8日土曜日 10時~15時 会場：キラメッセぬまづ

実施内容：沼津市私立幼稚園協会主催するイベント「おやこんぼフェスタ」にて  
「深海の未発見生物」をつくるワークショップを開催。

企画立案および会場設営、子どもたちへの呼びかけ、事例作品制作。

参加対象：未就学児を持つ家族

人員配置：当日、ENメンバーは担当ブースで子ども達と共に創作活動にあたる

打ち合わせ：4月5日（金）原町幼稚園で鶴谷園長と実施内容について検討。

会議：EN定例会（4月21日、5月11日）で同件について議題に取り上げる

準備（検討会）：DHARMA沼津で会場のシミュレーション（5月25日、6月7日）。



## 「沼津で芸術家が活躍する施設を！」沼津市幼児協教育研究会主催研修会シンポジウム

実施内容：沼津市幼児協教育研究会主催研修会「沼津で芸術家が活躍する施設を！」への企画立案、当日の進行、シンポジウムのパネラーとして参加。

実施場所：プラサ ヴェルデ

参加対象：沼津市幼児協教育研究会会員、県東部在住のアーティスト、保護者団体

人員配置：当日はE Nメンバー（長橋、原）がパネラーとして参加、  
加えてE Nメンバー（都築）が記録係として映像で撮影。

打ち合わせ：9月29日（金）、12月20日（金）原町幼稚園で鶴谷園長、片浜保育園進士園長と共に内容について検討。10月18日（金）武蔵の森珈琲にてE Nメンバー（原）、保護者会会員（松永氏）と打ち合わせ。

会議：EN定例会（9月7日、10月27日、11月10日、12月7日、1月11日）で  
同伴について議題に取り上げる。



## 「みんなで花を咲かせましょ。」3月7日（土）～29日（日）

実施内容：「だいこくや」を会場に沼津市内の7幼稚園、あしたか幼稚園、こずわ幼稚園、しょうえい幼稚園、中央幼稚園、原町幼稚園、春の木幼稚園、ルンビニ幼稚園に協力を仰ぎ、店内を子ども達の描いた桜の木で装飾する。

実施場所：だいこくや（沼津アーケード名店街にある駄菓子屋）

参加対象：沼津市内の7幼稚園の園児。

人員配置：3月7日（土）・29（日）はE Nメンバーで搬入、搬出の作業を担当。

会議：EN定例会（11月10日、12月7日、1月11日）で同件について議題に取り上げる。

準備：DHARMA沼津で下絵制作、その後担当メンバーが協力幼稚園（7園）に下絵を届け、搬入日までに受け取る。





## 結果や効果など

「おやこんぼフェスタ」参加者数の把握はできなかったが、開始直後から終了時間まで、多くの親子が訪れ「深海の未発見生物」をいっしょにつくった。

「芸術士」幼稚園関係者および保護者、造形作家など100名弱の参加があった。

「みんなで花を咲かせましょ。」は新型コロナ禍の中での開催となったが、感染予防対策を講じつつ、約1ヶ月開催。前年よりは来店者は少なかったが、参加していただいた園の園児たちは見に来てくれた。

## 課題やこれからの展望

今後の課題については、県東部在住のアーティストの掘り起こしとネットワークの構築であり、今後展望は幼児教育とアートをつなぐ社会活動の充実を進めていくこと。